

ちば救急医療ネットの更新について

令和 4 年 3 月
千葉県健康福祉部医療整備課

I 「ちば救急医療ネット（千葉県救急医療情報システム）」の概要

- 救急患者を迅速かつ適切な医療機関へ搬送する一助として、救急医療機関の応需情報（受入の可否、空床数等）や消防機関の搬送状況などを相互に情報共有するシステムであり、一般県民向けに夜間・休日急病診療所などの情報提供も行っている。
- 昭和 53 年 3 月に運用を開始し数次にわたる更新が行われ、現行システムは平成 30 年 4 月から稼働している。
- 以前は、医療機関に応需情報の定期更新時間帯（1 日 2 回（6 時～9 時、15 時～18 時））を設定していたが、現行システムでは、応需情報の入力義務は廃止（努力義務）とし、三次救急医療機関（救命救急センター）で受入不可情報（ネガティブ応需情報）を入力するなどの運用に変更した。

II 当該システムの更新に向けた検討など

- 当該システムは令和 6 年 4 月からの更新を予定しており、令和 5 年度の開発作業に向け、令和 4 年度の前半には次期システムの基本仕様等を設計しておく必要がある。
- 次期システムが、救急医療業務の円滑化や事務省力化につながり、現場で有意に活用されるものとなるよう、関係者の皆様とともに、アンケートやヒアリングなどを通じて検討を行っていきたいと考えており、今後ともご協力をお願いしたい。

III 「ちば救急医療ネット」に係るアンケート（令和 4 年 1 月実施）の結果について

1 アンケートの目的

各関係機関における利用状況や次期システムへの要望を把握し、システム更新に際しての参考とする。

2 アンケート対象と回答数

(1) 応需情報登録に参加の医療機関（三次救急医療機関と二次救急医療機関等）

対象： 178 機関 → 回答： 126 機関

(2) 消防本部（局）

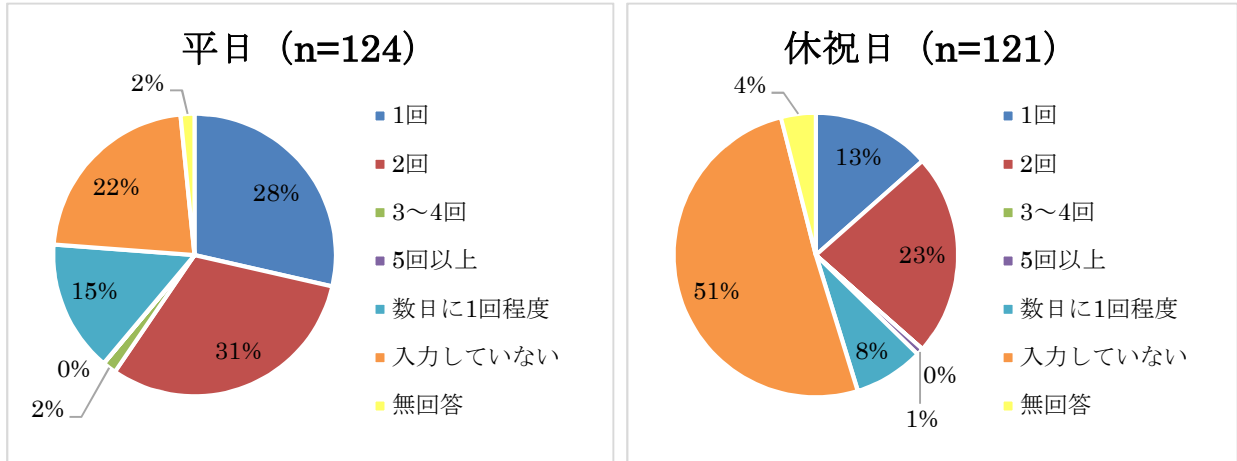
対象： 31 機関 → 回答： 31 機関

3 アンケートの結果

<医療機関>

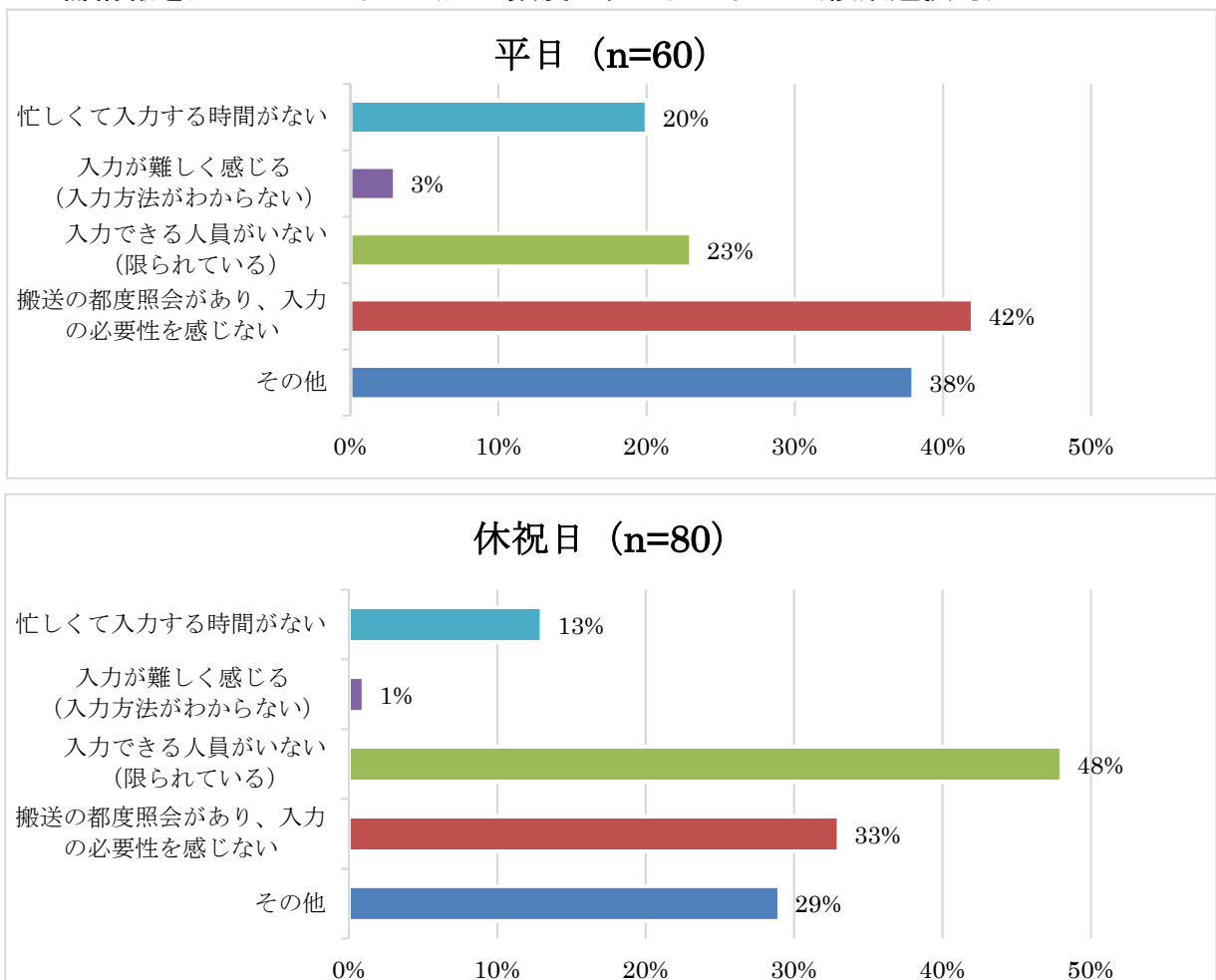
(1) 応需情報の入力状況について

ア 応需情報の1日の入力頻度



1日に1回または2回入力している医療機関は、平日が約6割、休祝日は4割弱、数日に1回程度や入力していない医療機関は、平日が4割弱、休祝日は約6割となっている。

イ 応需情報を入力していない（入力頻度が低い）理由（複数選択可）

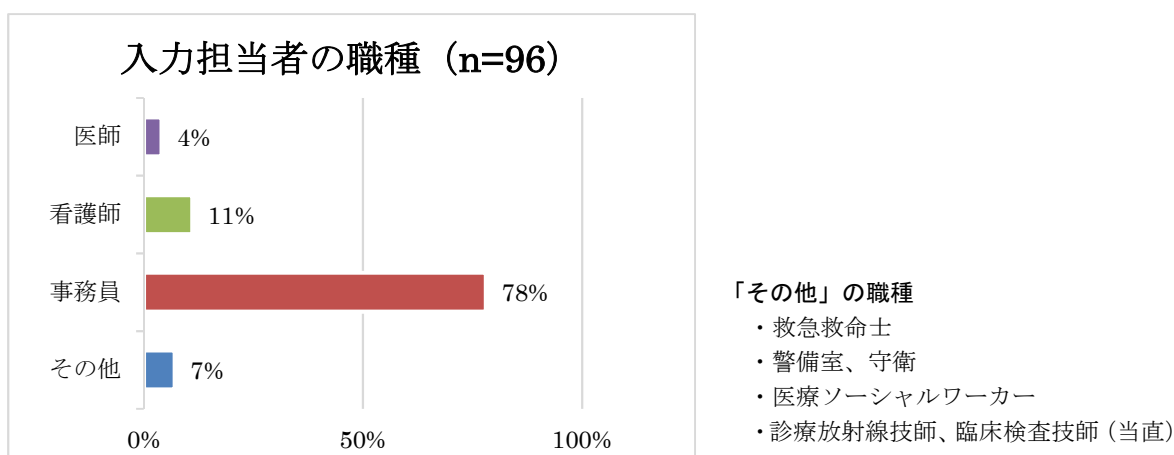


※ 応需情報を入力していない・頻度が低い「その他」の理由（記載があったもの）

| 平日 | 休祝日 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・(応需) 予定入力を使用している (4 機関) ・変化がないため (3 機関) ・1日に1回入力の院内統一 (3 機関) ・引継ぎが無かった (2 機関) ・入力意識が低い (1 機関) ・災害時のみの入力更新。通常時は必要ないと感じる (1 機関) | <ul style="list-style-type: none"> ・休祝日は対応できる診療科の変更がないため、一度の入力で済ませている (1 機関) ・(応需) 予定入力を使用している (5 機関) ・変化がないため (2 機関) ・1日に1回入力の院内統一 (2 機関) ・引継ぎが無かった (1 機関) ・入力意識が低い (1 機関) ・災害時のみの入力更新。通常時は必要ないと感じる (1 機関) |

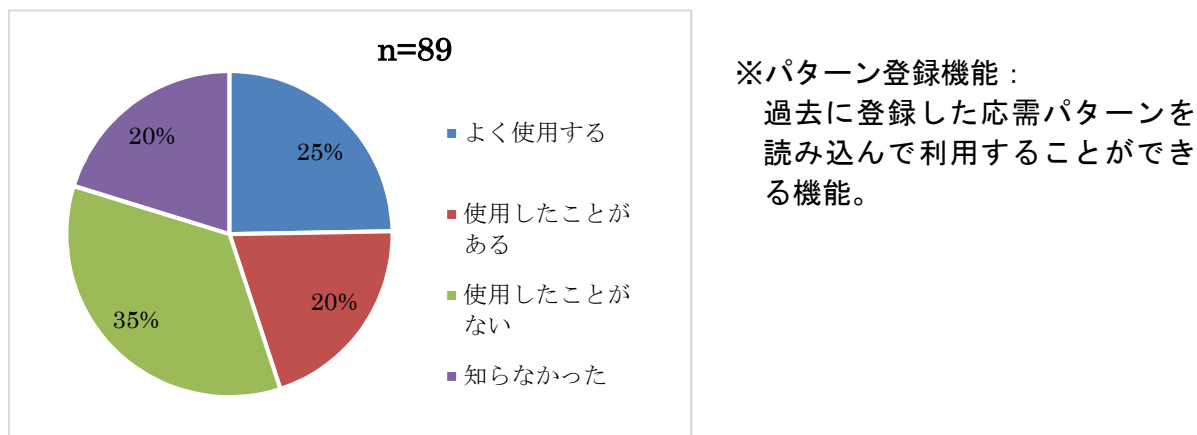
- ① 「救急隊から搬送の都度照会があり、応需情報の入力の必要性を感じない」という理由が、平日は約4割、休祝日は約3割にのぼる。
- ② また、「忙しくて入力する時間がない」や「入力できる人員がない等」といった理由が、平日は約4割、休祝日は約6割にのぼる。

ウ 応需情報の入力担当者の職種（医師、看護師、事務員等）（複数選択可）

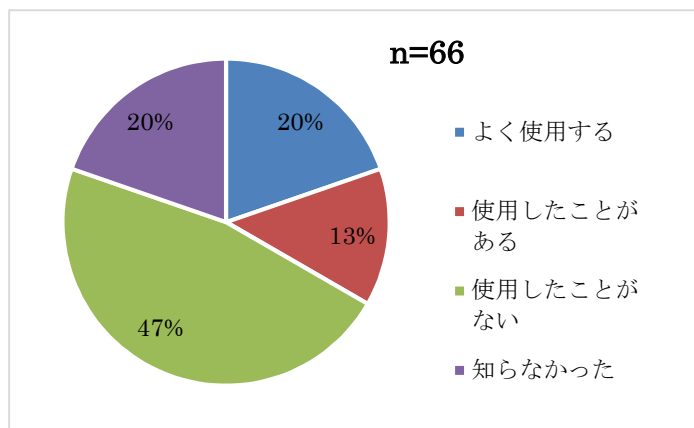


入力担当者は、事務員という医療機関が約8割、看護師という機関が約1割、医師が入力している機関が4%ある。

エ 応需情報の更新入力で「パターン登録機能（※）」を使用しているか



オ 応需予定入力で、応需予定の「コピー機能（※）」を使用しているか



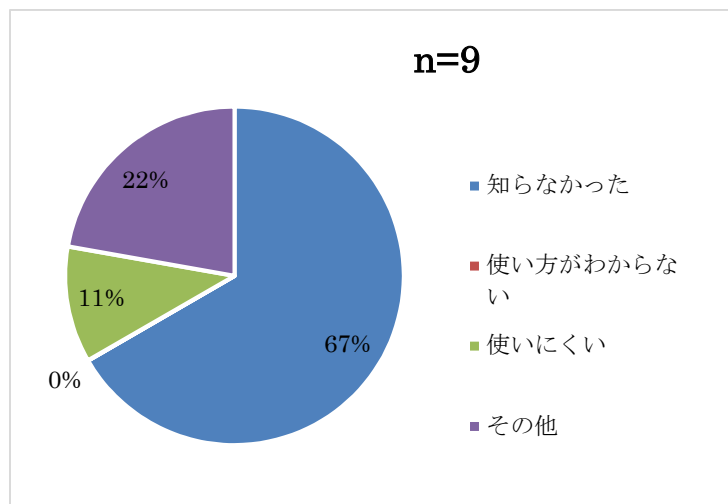
※コピー機能：
指定した期間の応需内容をコピーして、別の日付に入力できる機能。

応需情報の入力で、「パターン登録機能」を「よく使用する、または、使用したことがある」医療機関は約4割、「コピー機能」については約3割となっている。

応需情報を入力している医療機関であっても、入力を簡略化する機能を知らない、または使用したことがない医療機関が5割強や7割弱にのぼり、非常に多いことが判明した。

カ ネガティブ応需（※）を使用していない理由

（三次救急医療機関のうち、ネガティブ応需を使用していない機関のみ回答）



※ネガティブ応需：
受入不可情報をいう。急患対応や手術のため受入を一時休止したい際に入力することで、受入を一定時間休止していることを、ちば救急医療ネットの関係者トップページに表示させることができるもの。

※ 「その他」の理由（記載があったもの）

有用ではない。必ずしも正しくない情報であることがある。（1機関）

本機能を知らなかったという回答が約7割を占め、本機能について、対象医療機関に浸透していないことがわかる。

<消防機関>

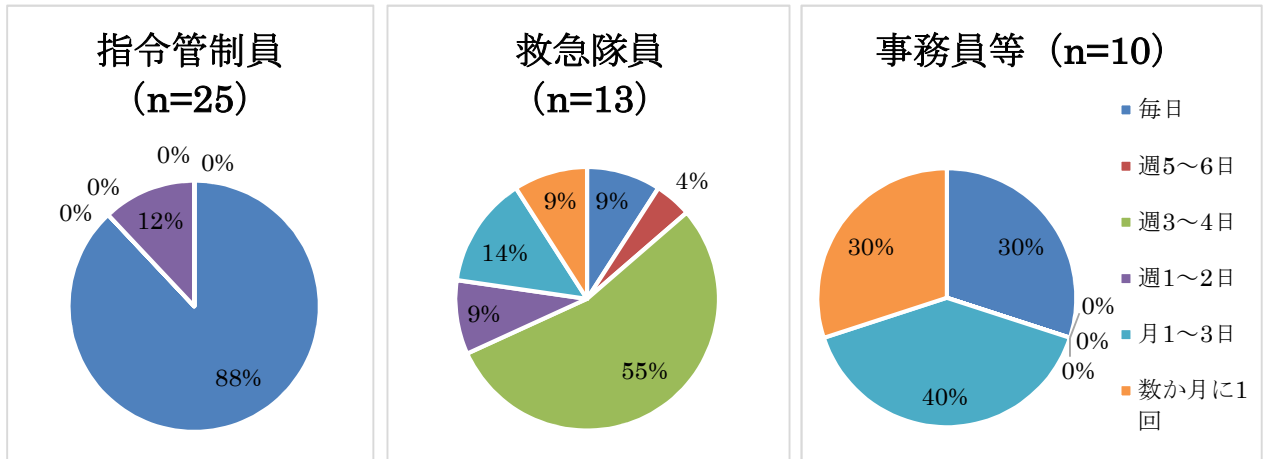
(1) 応需情報の利用状況について

ア 医療機関の「応需情報」を利用しているか

利用している： 14 / 31 機関 (45%)

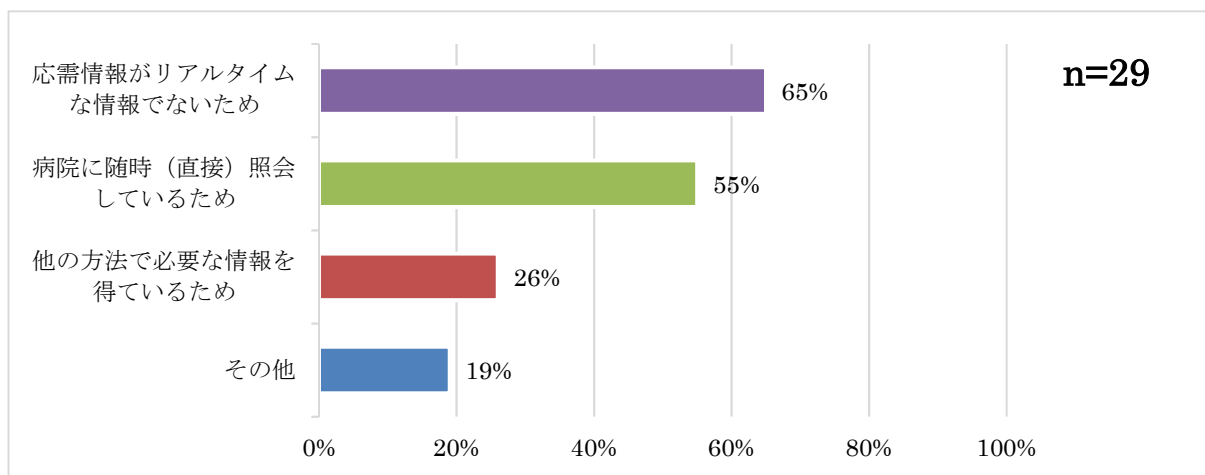
利用していない： 17 / 31 機関 (55%)

イ 応需情報の利用頻度 (利用している消防機関への設問)



- ① 利用している機関の指令管制員は、9割近くが毎日利用している。
- ② 利用している機関の救急隊員は、週3~4日の利用が5割強で最も多く、毎日利用は1割程度であるものの、約7割の救急隊員が週3~4日以上利用している。
- ③ 利用している機関の事務員等は、3割が毎日利用しているが、7割は月1~3日以下の利用であり、利用状況に差がある結果となった。
- ④ 利用目的については、指令管制官は「市民等からの問合せや救急隊からの相談への対応のため」、救急隊員は「受入先病院の選定のため」、事務員等は「市民等からの問合せへの対応のため」といった回答が多かった。

ウ 当該システムを利用していない(利用が進まない)理由 (複数選択可)



※ 「その他」の理由（記載があったもの）

- ・地域性により、搬送先がほぼ決定しているため（1機関）
- ・管内に搬送先病院を検索するほど病院が多くないため（1機関）
- ・医療圏内での対応可能事案では使用しない（1機関）
- ・本システム自体の導入が進んでいないため（1機関）
- ・応需情報が正確でない（1機関）
- ・（応需情報が）未登録の医療機関があるため（1機関）

- ① 利用していない等の理由が、「応需情報がリアルタイムではない」が6割強、「病院に随時照会している」が5割強あることから、消防機関では、「リアルタイムの情報を重視する傾向」がうかがえる。
- ② 一方、医療機関においては、「人員不足等で入力困難」や「搬送の都度照会があるため入力の必要性を感じない」といった状況にあり、次期システムにおいて、応需情報について、如何にしてリアルタイム化を図るか、ネガティブ応需に限定するかなど、検討が必要である。

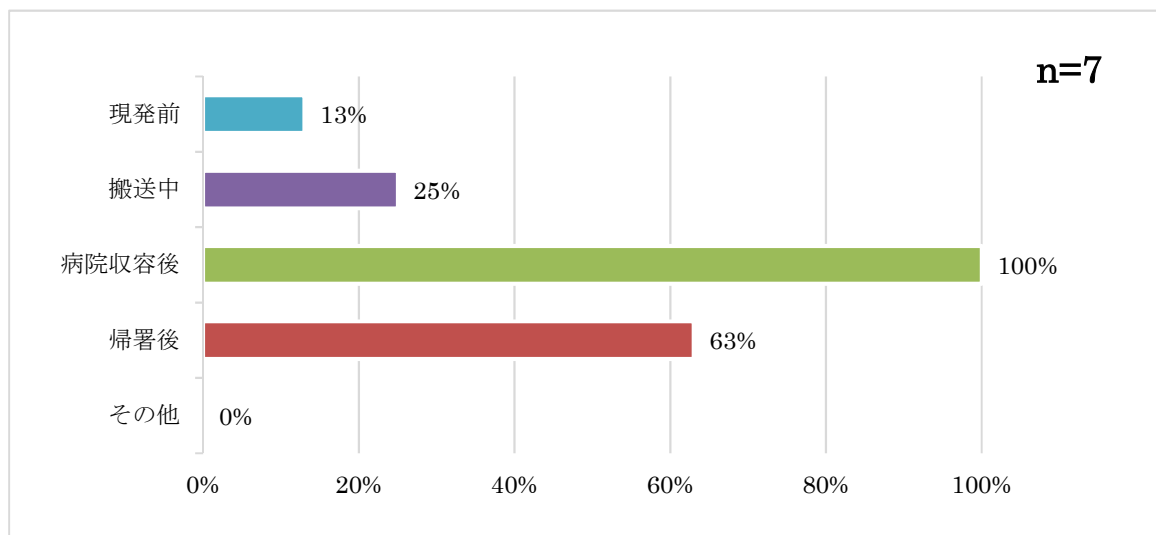
(2) 救急搬送状況入力機能の利用状況について

ア 救急搬送状況入力機能で搬送実績を入力しているか

入力している： 7 / 31 機関（23%）

入力していない： 24 / 31 機関（77%）

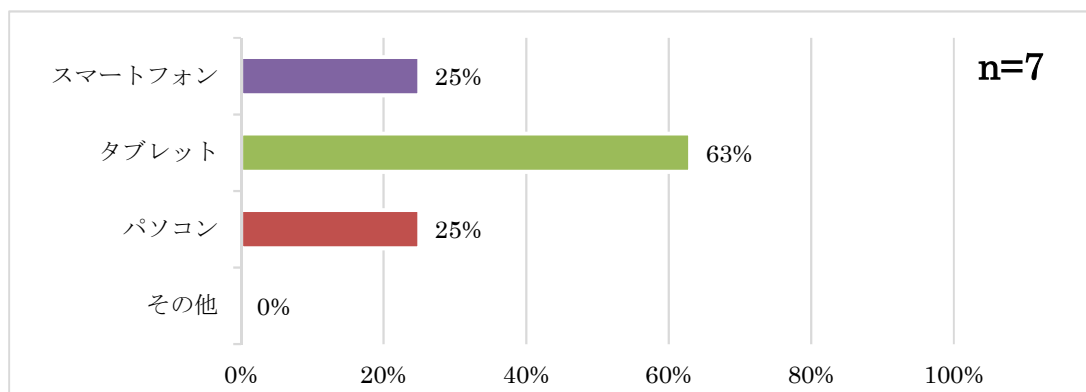
イ 搬送実績を入力するタイミング（複数選択可）



病院収容後や帰署後に入力している機関が非常に多いことから、救急搬送対応中は、その対応に追われるため、状況が落ち着いた病院収容以降に入力しているといったことがうかがえる。

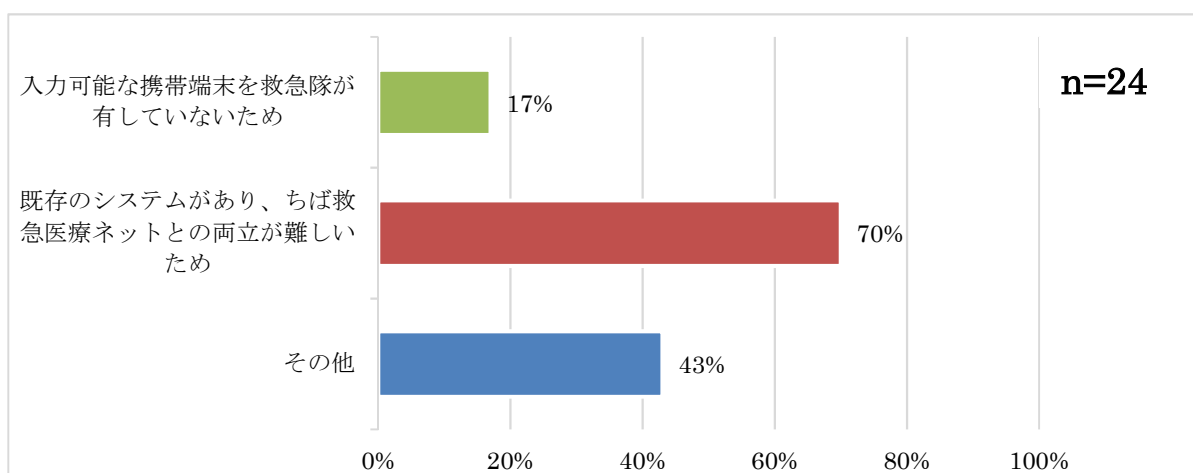
なお、現場出発前や搬送中に入力しているという回答も一定数あることから、都度入力対応しているといった運用が行われていることもうかがえる。

ウ 搬送実績の入力手段（入力端末）は何か （複数選択可）



タブレットで入力が最も多い回答で、スマートフォンやパソコンで入力している回答も一定数ある。

エ 搬送実績を入力していない理由 （複数選択可）



※ 「その他」の理由（記載があったもの）

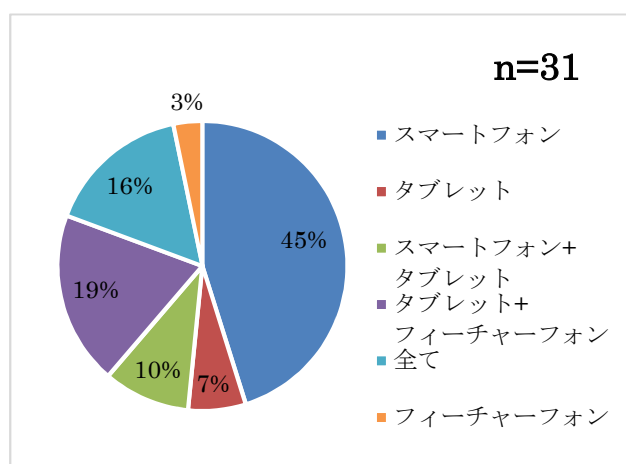
- ・入力作業が負担である（3 機関）
- ・情報活用していないため。（1 機関）
- ・当地域では搬送病院が限られており有用性が限られている（1 機関）
- ・入力したことによるメリットに乏しいことから、入力方法等について消防局で統一していない（1 機関）
- ・入力の必要性が乏しい（1 機関）
- ・全隊がタブレット等を所有しておらず、システムを導入していない（1 機関）
- ・ちば救急医療ネットを利用していないため（1 機関）

指令センターと連動したシステムや独自に導入している救急搬送支援システムなど、既存のシステムがあり、両立が難しいという回答が7割に上った。入力が二度手間になることが要因と考えられる。

また、搬送実績を入力するメリットが感じられないといった回答や、入力可能な携帯端末を有していないという回答が寄せられている。

(3) スマートフォンやタブレットといった携帯端末について

ア 消防機関で導入している携帯端末は何か

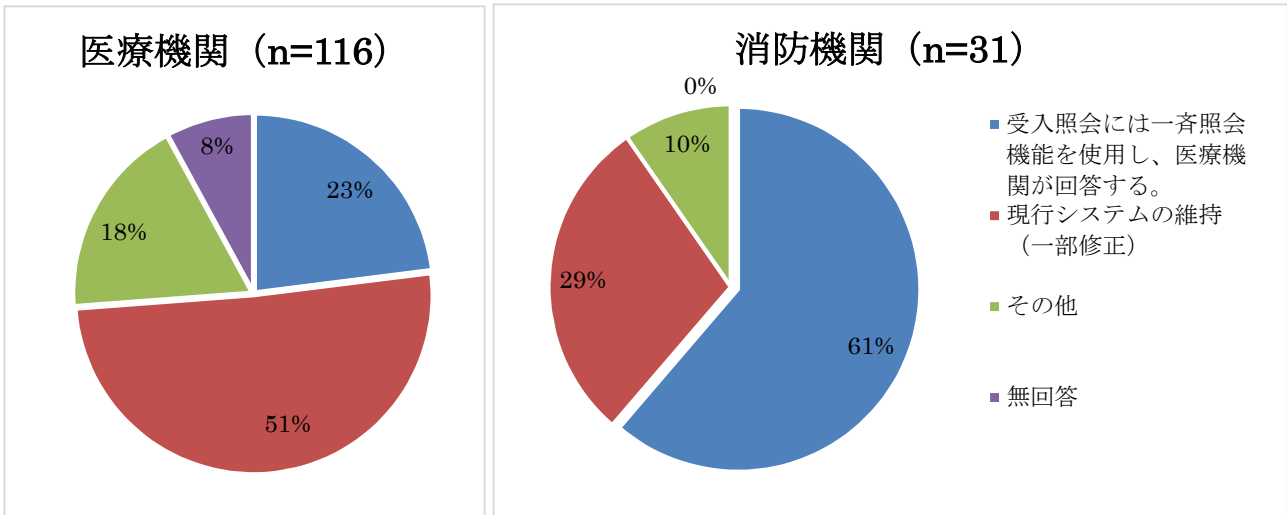


- ① 9割を超える消防機関が、現場で入力可能な携帯端末を有している。
- ② 現行システム運用開始時は、現場で入力できる携帯端末の導入が進んでおらず、入力している消防機関が少なかったこともあり、「搬送状況入力機能」は期待される効果を充分発揮できていない状況であるが、現在では携帯端末の導入が進んでいることがうかがえる。
- ③ このため、今後、搬送実績を入力することのメリットや入力方法を改めて説明し理解を得ることで、消防機関による搬送実績の入力を促進し、医療機関の受入状況のリアルタイム化を進め、搬送先選定の一助になることが期待される。
- ④ なお、現行システムでは、受入照会をスマートフォンで行う場合、医療機関との通話終了後に、受入可否等の照会結果を登録することで、搬送状況に反映される機能がある（別添参考資料参照）。
- ⑤ この処理は、救急搬送活動の流れの中で簡単に入力を行うことができるとともに、当該医療機関の受入可否等状況のリアルタイムな情報となるため、非常に有用であると考えているところである。
- ⑥ しかしながら、入力手段がタブレットの場合、指令センターと連動したシステムにも入力するといった二重の負担となる恐れが考えられることや、搬送実績を入力していない理由に「現場で入力可能な携帯端末を有していない」、「一部の隊のみ」といった回答があることから、これらの課題について対応を検討していく必要がある。

< 共通事項（医療機関・消防機関） >

(1) 次期システムについて

ア 次期システムの運用方式として、どの案が望ましいと思うか



消防機関においては、搬送時間の短縮に繋がることを期待し、6割が「一斉照会機能を使用した受入照会」を望んでいる一方で、医療機関においては、「現行システムの維持（一部修正）」が半数を占め、「一斉照会機能を使用した受入照会」を選択した医療機関は約4分の1にとどまっており、現行システムの維持等を望む理由として「人員不足などにより一斉照会への随時対応が困難であること」等が挙げられた。

各関係医療機関の長 様

千葉県健康福祉部医療整備課長
(公印省略)

ちば救急医療ネットに係るアンケートについて (依頼)

本県の救急医療体制の推進につきましては、日頃格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本県では、救急搬送の円滑化を図るため、救急医療機関の応需情報を掲載した「ちば救急医療ネット」を運用しているところですが、本システムについては、令和6年4月の更新を予定しております。

そこで、各医療機関での利用状況及び次期システムへの要望を把握し、更新に際しての参考とさせていただきたいため、お忙しいところ誠に恐縮ですが、別紙アンケートへの御協力をお願いいたします。

記

- 1 調査対象 ちば救急医療ネットの応需情報登録に参加している医療機関
- 2 回答方法 別紙アンケート項目について、千葉県ホームページに掲載しているエクセルファイルの回答表（医療機関用）により、電子メールにて回答願います。
※電子メールによる回答ができない場合は御相談ください。
千葉県健康福祉部医療整備課 医療体制整備室
送付先：ryosei2@mz.pref.chiba.lg.jp
- 3 回答期限 令和4年2月7日（月）
- 4 回答表の掲載先 <https://www.pref.chiba.lg.jp/cate/kfk/kenkou-iryous/seisaku/index.html>
千葉県ホーム>暮らし・福祉・健康>健康・医療>保健医療政策>ちば救急医療ネットに係るアンケートについて

《担当》

千葉県健康福祉部医療整備課
医療体制整備室 坂口
TEL:043-223-3879
FAX:043-221-7379
Mail:ryosei2@mz.pref.chiba.lg.jp

各消防本部（局）の長 様

千葉県健康福祉部医療整備課長
(公印省略)

ちば救急医療ネットに係るアンケートについて（依頼）

本県の救急医療体制の推進につきましては、日頃格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本県では、救急搬送の円滑化を図るため、救急医療機関の応需情報を掲載した「ちば救急医療ネット」を運用しているところですが、本システムについては、令和6年4月に更新を予定しております。

そこで、各消防機関での利用状況及び次期システムへの要望を把握し、更新に際しての参考とさせていただきたいため、お忙しいところ誠に恐縮ですが、別紙アンケートへの御協力をお願いいたします。

記

- 1 調査対象 県内全消防機関
- 2 回答方法 別紙アンケート項目について、千葉県ホームページに掲載しているエクセルファイルの回答表（消防機関用）により、電子メールにて回答願います。
千葉県健康福祉部医療整備課 医療体制整備室
送付先：ryosei2@mz.pref.chiba.lg.jp
- 3 回答期限 令和4年2月7日（月）
- 4 回答表の掲載先 <https://www.pref.chiba.lg.jp/cate/kfk/kenkou-iryoku/seisaku/index.html>
千葉県ホーム>暮らし・福祉・健康>健康・医療>
保健医療政策>ちば救急医療ネットに係るアンケートについて

《担当》
千葉県健康福祉部医療整備課
医療体制整備室 坂口
TEL:043-223-3879
FAX:043-221-7379
Mail:ryosei2@mz.pref.chiba.lg.jp